

## 【報告】県庁土木交通部での勤務時間内大規模地震初動訓練について

- ・ 8 月 31 日に、土木交通部（県庁在席職員）において勤務時間内訓練を初めて実施
- ・ 対応が不十分だった事項や課題、反省点を確認
- ・ 部内および土木事務所と結果を共有し、今後に反映させる

### 訓練概要

日 時	令和 5 年 8 月 31 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分
参加者	土木交通部（県庁）の在席職員、防災危機管理監（オブザーバー）
目的	県庁に勤務する職員により情報伝達の体制を構築し、適切な初動活動が行えるかを確認
訓練内容	<p>A 安否確認と役割分担の決定【全員】</p> <p>B 被害情報の収集整理・防災システム入力・情報伝達【担当者】</p> <p>C 被害状況を踏まえた対応指示の実践と共有【所属長】</p>
訓練前提	滋賀県南部を中心に 13 時半に最大震度 6 の地震が発生、2 日後に台風接近

### 課題・反省点等

- ・ 幹部から各課の動きが見えにくいため、本部と部内各課をつなぐ状況・情報連絡員の配置が必要と感じた。
- ・ 災害時マニュアルについて、改善点も明らかになった。
- ・ 重大な情報（緊急輸送道路の通行止め等）の伝達タイミングが遅かった。
- ・ ホワイトボードなど、情報集約に必要な備品の不足が判明した。
- ・ 複数の箇所が発災した場合、優先して対応すべき箇所の判断が難しいケースがあった。  
事前に優先順位を整理（緊急輸送道路、孤立集落対応など）

### 今後に向けて

- ・ 各課にて振り返りを実施、反省点を改善
- ・ 部内課長会議、土木事務所長会、次長会等でも情報を共有
- ・ 具体的な状況判断ができるよう、継続して訓練を実施



土木交通部長室での対応状況